

I	(1) エ	(2) エ	(3) イ	(4) ウ	(5) イ	各3点		
II	A オ	B エ	C ア	D イ	E シ	F カ	G キ	H コ
	I ウ	J サ	K ケ	L ク	各3点			
III	A 契約		B 義務		C 契約自由		D 消費者問題	
	E 消費者の権利		F クーリング・オフ制度		G 製造物責任法(PL法)		各2点	
IV	(1) 生鮮食品		(2) 流通	(3) 卸売	(4) せり	(5) 卸売市場	(6) イ	各
	(7)①スーパーマーケット ② コンビニエンスストア ③ オンライン・ショップ						(8) オ	2点
V	クレジットカードは借金と同じなので、収入を考えずに商品を購入すると、後で支払いが困難になるおそれがある。そのため、最悪の場合は、自己破産につながることも起こりうる。5点							
VI	【表Ⅰ】			【採点基準】 次の①～③を、必ず触れなければならない論点とする(満点の前提条件、各2点)。その上で、④以下の各論点の説明が具体的で合理的であれば、1論点につき2点を加点する。ただし、10点を上限とする。				
	収入		330,000円	①「収入」と「支出+その他(預貯金など)」が一致すること(33万円)。				
	実費支出	食料	円	②「お祝い金」を「支出」するのか、しないのかについて説明していること。				
		住居	円	③ 被服及び履き物について、結婚式の宴に出席するための衣服をどのように準備するのかについて検討をして、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。				
		光熱・水道	円	④ 猛暑の夏を乗り切ることを踏まえて、光熱・水道費の支出の理由について説明していること。特にエアコンの電気料金などの検討が重要。				
		家具・家事用品	3,000円	⑤ 教養娯楽費について、10日間の夏休みの過ごし方を取り上げて、自分の趣味などとの関連で検討し、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。				
		被服 ひふく および履き物 はきもの	円	⑥ 食料費を健康管理や体力維持などの観点から考え、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。				
		保健医療	4,000円	⑦ 住居費を職場との距離や通勤時間あるいは安全性や住環境の快適性などの観点からについて、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明している。				
		交通・通信	円	⑧ 交通・通信費をスマートフォンやインターネット接続の利用について考えて、どれくらい出費するのか、結論とその理由について説明していること。				
		教養 ごらく 娯楽	円	⑨ 預貯金を将来の生活設計との関係について具体的に検討していることを説明している。				
		その他の消費支出	円					
	税金、社会保険料など		54,000円					
	その他(預貯金、借入金返済など)		円					

第 学年 組 番 氏名 満点 太郎

I 思考力・判断力	II 知識・理解	III 知識・理解	IV 資料活用技能	V 知識・理解	VI 主体的に学ぶ態度	合 計
/15	/36	/14	/20	/5	/10	/100